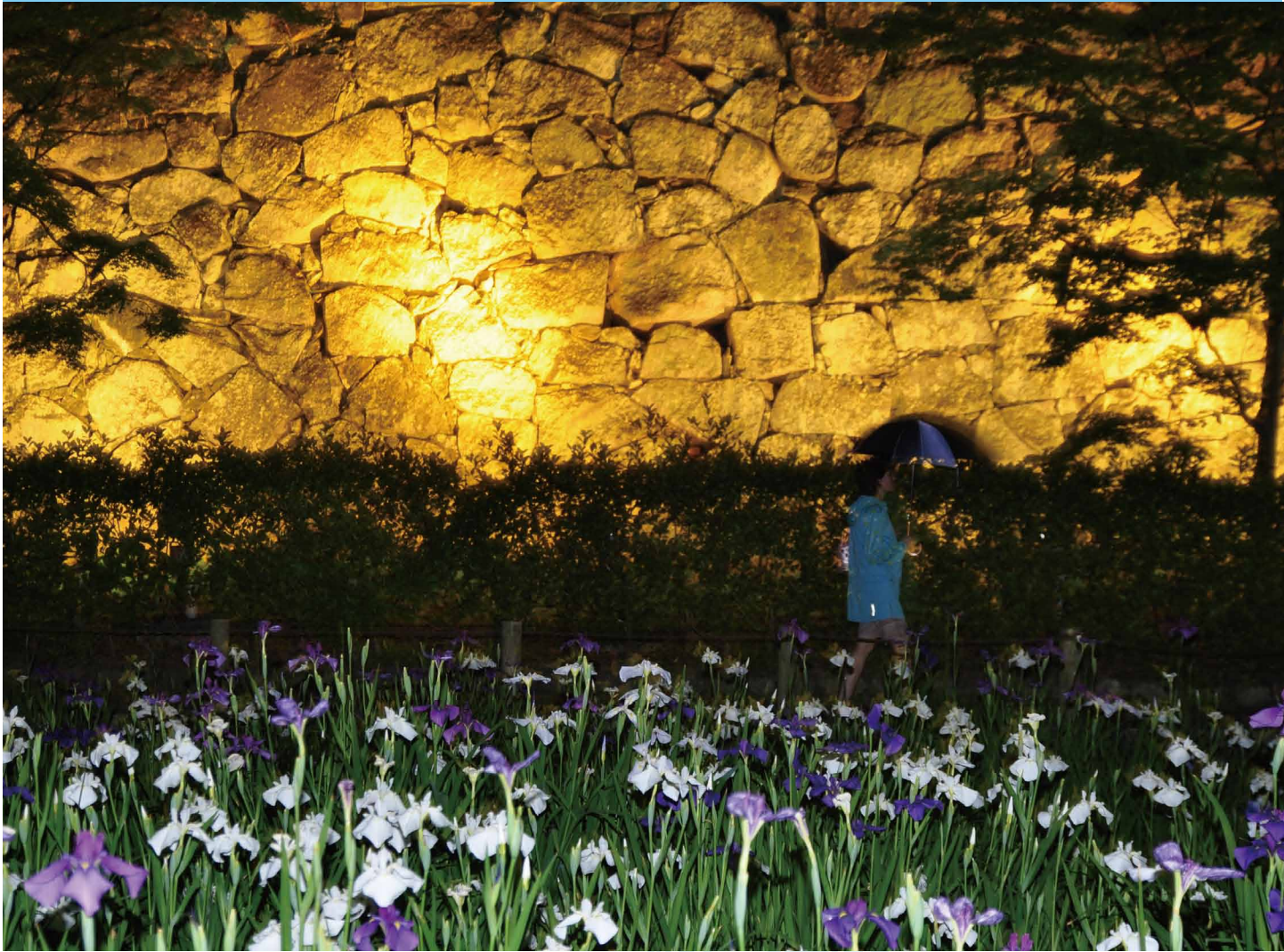


城のある都市復活

福岡城だより

2015.夏
SUMMER
No.46



第3回福岡城彩発見フォトコンテスト 入選 「黄金の城壁」 尾崎 幸秀

福岡市は、「アジアの交流拠点都市・福岡」を目指して、都市の魅力に磨きをかけ、活力あふれるまちづくり、歴史や文化、自然など都市の魅力を生かした都市づくりを進めているところです。

そのような中で、古代の迎賓館として栄えた鴻臚館跡や、黒田官兵衛・長政親子が築城した福岡城跡がある舞鶴公園は、大陸との交流や政治・経済・文化の拠点であった二千年の福岡の歴史を象徴する空間であり、福岡市の貴重な国史跡の歴史文化資産であるとともに、都心のオアシスとして皆さまに親しまれています。

中央区役所としても、鴻臚館跡や福岡城跡の積極的な活用を図り、多くの市民や来街者が訪れ、歴史文化を体感し学べる場とすることや、周辺の観光資源と連携した回遊性向上の仕組みづくり、幅広い世代や国際的な視点を踏まえた施策への展開など、もっと福岡を楽しめるまちづくりを進める必要があると考えています。

また、舞鶴公園と大濠公園の一体的な活用を図り、県民・市民の憩いの場として、また、歴史、芸術文化、観光の発信拠点として、福岡の顔となる公園づくりを目指す「セントラルパーク構想」が昨年度策定されており、都市の活力や成長へと結びつけていくよう、ソフトとハードの両面から総合的に整備を展開していく事としております。

今後とも、貴会をはじめとした地域団体と連携・協力しながら、歴史と文化を大切にしたい魅力あるまちづくりに努めていきたいと考えておりますので、ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

福岡市は、「アジアの交流拠点都市・福岡」を目指して、都市の魅力に磨きをかけ、活力あふれるまちづくり、歴史や文化、自然など都市の魅力を生かした都市づくりを進めているところです。

そのような中で、古代の迎賓館として栄えた鴻臚館跡や、黒田官兵衛・長政親子が築城した福岡城跡がある舞鶴公園は、大陸との交流や政治・経済・文化の拠点であった二千年の福岡の歴史を象徴する空間であり、福岡市の貴重な国史跡の歴史文化資産であるとともに、都心のオアシスとして皆さまに親しまれています。

中央区役所としても、鴻臚館跡や福岡城跡の積極的な活用を図り、多くの市民や来街者が訪れ、歴史文化を体感し学べる場とすることや、周辺の観光資源と連携した回遊性向上の仕組みづくり、幅広い世代や国際的な視点を踏まえた施策への展開など、もっと福岡を楽しめるまちづくりを進める必要があると考えています。

また、舞鶴公園と大濠公園の一体的な活用を図り、県民・市民の憩いの場として、また、歴史、芸術文化、観光の発信拠点として、福岡の顔となる公園づくりを目指す「セントラルパーク構想」が昨年度策定されており、都市の活力や成長へと結びつけていくよう、ソフトとハードの両面から総合的に整備を展開していく事としております。

今後とも、貴会をはじめとした地域団体と連携・協力しながら、歴史と文化を大切にしたい魅力あるまちづくりに努めていきたいと考えておりますので、ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



「鴻臚館・福岡城跡」を福岡のシンボルに
福岡市中央区役所区長 池見 雅彦

NPO法人 福岡城市民の会 総会開かれる

平成27年5月16日の第11回総会において下記の項目が承認されました。

総会報告

開催日時 平成27年6月16日(火) 14時～16時
開催場所 福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号 「あいれふ」講堂10階

1 審議事項

- (1) 第1号議案 平成26年度事業報告に関する件
- (2) 第2号議案 平成26年度貸借対照表及び活動計算書に関する件
- (3) 第3号議案 平成27年度事業計画(案)の件
- (4) 第4号議案 平成27年度活動予算(案)の件

2 報告事項

- (1) 理事、監事辞任の件
- (2) 監査報告、会員数報告の件

第2号議案 第4号議案平成26年度活動計算書及び平成27年度活動予算

活動計算書科目	平成26年度活動計算書 (H26年度決算額)	平成27年度活動予算
I 経常収益		
1 会費収入		
正会員受取会費	1,320,000	1,400,000
賛助会員受取会費	1,056,000	1,100,000
2 受取寄付金	14,672	20,000
3 事業収入		
イベント事業	2,309,520	7,769,000
市民講座事業	1,047,000	1,500,000
共同事業収入	891,680	1,003,000
広報事業	38,300	
4 その他収益		
受取利息	749	
雑収益	211,305	
経常収益計	6,889,226	12,792,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 仕入れ		
期首商品棚卸高	209,132	
当期仕入高	0	
期末商品棚卸高	△ 167,983	
仕入原価計	41,149	
(2) 人件費		
給料手当		50,000
臨時雇賃金		20,000
福利厚生費	79,400	
人件費計	79,400	70,000
(3) その他経費		
外注費	1,650,498	6,729,000
会議費	18,174	
広告宣伝費	16,200	
ガイド料	537,000	222,000
消耗品費	259,499	1,142,000
旅費交通費	250,000	300,000
賃借料	3,240	
保険料	157,970	56,000
通信費	108,751	
手数料	54	
諸謝金	791,398	20,000
寄付金	634,225	
印刷製本費	673,032	536,000
共同事業		600,000
雑費	128,697	60,000
その他経費計	5,228,738	9,665,000
事業費計	5,349,287	9,735,000



編集後記

今年は総会後に、福岡市のみどりのまち推進部の部長による「セントラルパーク構想」についての講演がありました。管轄の違う大濠公園と舞鶴公園の一体化、多くの課題もありますが大きな夢を膨らませる構想となっています。

福岡城市民の会も活動を通して夢の実現に向かって、今後も取り組んでいきたいと思っています。

皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

編集・発行 NPO法人：福岡城市民の会

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル7階
TEL 092-716-8238 FAX 092-716-8254
HPアドレス <http://fukuokajokorokan.info>
E-mail staff@fukuokajokorokan.info
[デザイン・印刷] 城島印刷株式会社

福岡城市民の会

検索



大井上伸一
原伸一
和男
亀山
田口
信美
雪智代

新規会員名簿 (平成27年6月30日現在)
一般会員(個人)

6月7日(日)のクリーンアップは、ラブ・アースと同日開催の為、220名もの多くの方が参加されました。

今回は福岡城内を2つのコースに分けて、ガイドさんによるレクチャーも含め1時間たっぷり、広い福岡城内を清掃しました。皆様お疲れ様でした。

第11回
福岡城内
クリーンアップ作戦の
報告

活動計算書科目	平成26年度活動計算書 (H26年度決算額)	平成27年度活動予算
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	0	300,000
法定福利・福利厚生費		37,500
人件費計	0	337,500
(2) その他経費		
顧問料	324,000	320,000
事務用品費	387,320	300,000
消耗品費	127,571	90,000
旅費交通費	170,070	160,000
手数料	47,270	50,000
租税公課	1,000	70,000
通信費	293,014	250,000
諸会費	55,000	
新聞図書費	48,444	
資料作成費	682,623	
調査研究費	52,446	100,000
会議費	127,096	180,000
雑費	135,168	220,000
その他経費計	2,451,022	1,740,000
管理費計	2,451,022	2,077,500
経常費用計	7,800,309	11,812,500
当期経常増減額	△911,083	979,500
III 経常外収益		
1 前期損益修正益	280,000	
IV 経常外費用		
1 前期損益修正損	113,784	
税引前当期正味財産増減額	△744,867	
法人税、住民税及び事業税	71,000	
当期正味財産増減額	△815,867	979,500
前期繰越正味財産額	4,672,183	3,856,316
次期繰越正味財産額	3,856,316	4,835,816

平成27年度事業計画

1. 事業実施の方針

平成26年は、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」が放映され、当会も福岡県、福岡市と連携して積極的に史跡・文化財の昂揚に取り組んだ。福岡城訪問客も例年になく増加し、ガイドツアー参加者は4～12月1,589名(対前年度比18%増)に達し、福岡城・鴻臚館の知名度も向上したがその効果を一過性に終わらせず将来の展開につなげる必要がある。福岡県、福岡市でも、セントラルパーク構想や福岡城復元整備計画に取り組みを開始し、旧舞鶴中学校には「案内処三の丸スクエア」が開設され、また当会と福岡市との共働提案事業 「福岡城・鴻臚館を活かした観光都市戦略事業」が平成27年度から始まる。

一方、当会は平成27年2月にNPO設立10周年を迎え、今日までの多くの会員・関係者のご協力、ご尽力に感謝しつつ、その蓄積を活かして未来への新たな発展を期すべき時期にある。このような趨勢の中で、長年の懸案であった事務局体制の強化・充実に昨年度に引き続き取り組み、また10周年記念会員拡大キャンペーンについても継続していく。世間一般の経済環境は流動的な時代であり、費用対効果を十分見極めながら貴重な財源を活かしていきたい。

当会の大型イベント事業である「どんたく城内演舞台」は、従来の演舞台の形式から式典(セレモニー)のみを継承し「どんたく関連イベント」とする。これによって大幅な費用削減を行うとともに、黒田長高様との懇親会を行うことで会員のメリットを拡充し収益も見込める事業へと転換していきたい。城内「観桜行事」は平成28年3月下旬、福岡市「福岡城桜まつり」の行事の一つとして催行することで費用の負担をなくす平成27年3月の方法を継承していきたい。

研究・啓発事業では、受講者に根強い人気のある「福岡城歴史観光市民大学」は内容を一新し第8期を実施する。また「城内・城下町めぐりツアー」については、ガイド体制と内容を整えて新しい第一歩を踏み出すこととし、如水・長政の戦跡を巡るバスツアーについても、訪問先を充実して催行する。

平成23年度「新しい公共による支援事業」で発足した、「福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会」は、近年とみにその重要性が増してきており、平成27年度からは前述の共働提案事業「福岡城・鴻臚館を活かした観光都市戦略事業」に積極的に対応するほか、福岡城内クロスカントリ事業など多角的な運用を予定している。また3か年間取り組んできた共同事業体による「福岡市からの「福岡城むかし探訪館・案内処三の丸スクエア」の委託事業にも引き続き受託。

当会を取り巻く環境は、当会の活動方針にふさわしい方向に盛り上がっており、会員各位の期待に応え、本年度もより積極的に取り組んでいきたい。

5月26日の理事会を経て総会が開催され無事終了いたしましたことを会員の皆様にご報告します。
※ 詳細につきましては質疑事項ございましたら当会へお尋ねください。
※ 福岡城だより46号では平成26年度活動計算書(決算書)に関する資料と平成27年度活動予算の資料を併設記載しています。

